

## 工事成績評定の考査項目別運用表(土木工事)

[記入方法] 該当する項目の□にレマークを記入する。

2018/1/1 以降

(総括監督員)

考査項目	細別	a	b	c	d	e
1, 施工体制	I. 施工体制一般	適切である	ほぼ適切である	他の評価に該当しない	やや不適切	不適切である
		<p>●評価対象項目</p> <p><input type="checkbox"/>1) 施工計画書が、工事着手前に提出されている。もしくは、提出前に準備工事に着手する際は、監督員の承諾を得ている。</p> <p><input type="checkbox"/>2) 施工計画書の内容と現場の施工体制、施工方法等が一致している。</p> <p><input type="radio"/>3) 施工体制台帳及び施工体系図に作業分担の範囲が明確に記載され、下請契約書の写し等の必要な書類を添付して提出されている。</p> <p><input type="radio"/>4) 施工体系図に記載された全ての下請工事について、鳥取県建設工事における下請契約等適正化指針に基づく「下請契約遵守事項報告書」が作成されている。また、下請等(2次以下除き、交通誘導業務委託を含む。)と契約する際に、標準見積書の提出依頼を書面で行う等適正な価格での契約締結に努めている。</p> <p><input type="radio"/>5) 緊急指示、受注者の責めによらない災害、事故等が発生した場合の対応が速やかである。</p> <p><input type="radio"/>6) その他(理由: _____)</p> <p>●判断基準</p> <p>評価値が90%以上.....a</p> <p>評価値が80%以上90%未満.....b</p> <p>評価値が80%未満.....c</p>			<p><input type="checkbox"/> 施工体制一般に関して、監督員が文書で改善指示を行った。</p>	<p><input type="checkbox"/> 施工体制一般に関して、監督員からの文書による改善指示に従わなかった。</p>
<p>①○印の評価対象項目については、当該工事に該当しない場合はその項目を削除する。</p> <p>②削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。</p> <p>③評価値 (      %) = 該当項目数 (      ) / 評価対象項目数 (      )</p>						
	II. 配置技術者(現場代理人・主任技術者等)	適切である	ほぼ適切である	他の評価に該当しない	やや不適切	不適切である
		<p>●評価対象項目</p> <p><input type="checkbox"/>1) 現場代理人が下請けの施工体制を含め工事全体を把握している。</p> <p><input type="checkbox"/>2) 書類が共通仕様書及び諸基準に基づき適切に作成され整理されている。</p> <p><input type="checkbox"/>3) 契約書、設計図書、適用すべき諸基準等を理解し、施工に反映しており、自ら主体的に説明を行っている。</p> <p><input type="radio"/>4) 施工上の課題となる条件(作業環境、気象、地質等)への対応が十分に図られている。</p> <p><input type="radio"/>5) 主任技術者が、技術的な根拠に基づいた優れた判断を行い良好な施工が行われている。</p> <p><input type="radio"/>6) その他(理由: _____)</p> <p>●判断基準</p> <p>評価値が90%以上.....a</p> <p>評価値が80%以上90%未満.....b</p> <p>評価値が80%未満.....c</p>			<p><input type="checkbox"/> 配置技術者に関して、監督員が文書で改善指示を行った。</p>	<p><input type="checkbox"/> 配置技術者に関して、監督員からの文書による改善指示に従わなかった。</p>
<p>①○印の評価対象項目については、当該工事に該当しない場合はその項目を削除する。</p> <p>②◎印は加点項目であり、該当行為が他の模範となるほど質が高い場合に評価する。</p> <p>③削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。</p> <p>④評価値 (      %) = 該当項目数 (      ) / 評価対象項目数 (      )</p>						

## 工事成績評定の考査項目別運用表(土木工事)

[記入方法] 該当する項目の□にレマークを記入する。

2018/1/1 以降

(検査員: I 施工管理)、(総括監督員: II 工程管理)

考査項目	細別	a 適切である	b ほぼ適切である	c 他の評価に該当しない	d やや不適切	e 不適切である
2. 施工状況	I. 施工管理	<p>●評価対象項目</p> <p><input type="checkbox"/>1) 施工計画書が対象工種の着手前に提出され、所定の項目、内容が適切に記載されているとともに、設計図書の内容及び現場条件を反映したものとなっていることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/>2) 土木工事施工管理基準に示した基準を上回る自社の施工管理基準を設定し、管理していることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/>3) 段階確認、協議等が適期に行われ、書類が作成されている。</p> <p><input type="checkbox"/>4) 建設副産物が適切に処理されている。</p> <p><input type="checkbox"/>5) 日常の出来形管理が、土木工事施工管理基準に基づき適時及び的確に行われている。(写真管理含む)</p> <p><input type="checkbox"/>6) 日常の品質管理が、土木工事施工管理基準に基づき適時及び的確に行われている。(写真管理含む)</p> <p><input type="checkbox"/>7) 現場内での整理整頓が日常的に行われている。</p> <p><input type="checkbox"/>8) 工事の関係書類が不足なく簡潔に整理されていることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/>9) その他(理由: _____)</p> <p>●判断基準</p> <p>評価値が90%以上.....a</p> <p>評価値が80%以上90%未満.....b</p> <p>評価値が80%未満.....c</p>			<p><input type="checkbox"/> 施工管理に関して、監督員が文書で改善指示を行った。</p>	<p><input type="checkbox"/> 施工管理に関して、監督員からの文書による改善指示に従わなかった。</p>
	II. 工程管理	<p>●評価対象項目</p> <p><input type="checkbox"/>1) 実施工程表の点検及びフォローアップが行われており、適切に工程が管理されている。(計画に対し2ヶ月以上連続して10%以上工程の遅れがなかった。)</p> <p><input type="checkbox"/>2) 現場条件の変化への対応が迅速であり、その結果施工の停滞が見られない。</p> <p><input type="checkbox"/>3) 時間制限等の工程に関する各種制約への対応が適切であり、大きな工程の遅れが無い。</p> <p><input type="checkbox"/>4) 工程に与える要因が的確に把握され、それらを反映した綿密な工程表が作成され適切な工程管理が行われている。</p> <p><input type="checkbox"/>5) 工程管理を適切に行なったことにより、休日や夜間工事・時間外作業の回避等を行い、地域住民からも特にそれに対する苦情がなかった。</p> <p><input type="checkbox"/>6) その他(理由: _____)</p> <p>●判断基準</p> <p>評価値が90%以上.....a</p> <p>評価値が80%以上90%未満.....b</p> <p>評価値が80%未満.....c</p>			<p><input type="checkbox"/> 工程管理に関して、監督員が文書で改善指示を行った。</p>	<p><input type="checkbox"/> 工程管理に関して、監督員からの文書による改善指示に従わなかった。又は、請負者の責により工期内に工事を完成させなかった。</p>

①○印の評価対象項目については、当該工事に該当しない場合はその項目を削除する。

②◎印は加点項目であり、施工計画書に施工管理基準(出来形又は品質)を上回る自社管理値を設けており、基準と自社管理値の仕分けが明確に記載され、計画どおり管理されている場合に評価する。

③削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。

④評価値(%) = 該当項目数( ) / 評価対象項目数( )

## 工事成績評定の考査項目別運用表(土木工事)

[記入方法] 該当する項目の□にレマークを記入する。

2018/1/1 以降

(総括監督員)

考査項目	細別	a 適切である	b ほぼ適切である	c 他の評価に該当しない	d やや不適切	e 不適切である		
2. 施工状況	Ⅲ. 安全対策	<p>●評価対象項目</p> <p>○ □1) 災害防止(工事安全)協議会等を設置し、1回以上/月活動し、記録が整理されている。</p> <p>□2) 安全教育及び安全訓練等が半日/月以上実施されている。</p> <p>□3) 新規入場者教育の内容に、当該工事の現場特性が反映されている。</p> <p>□4) 安全巡視、TBM、KY等を実施し、記録が整備されている。</p> <p>□5) 工事期間を通じて、労働災害及び公衆災害が発生しなかった。</p> <p>◎ □6) 過積載防止に積極的に取り組んでいる。</p> <p>○ □7) 仮設工の設置が法令等の諸基準を順守しており、点検及び管理がチェックリスト等を用いて実施されている。</p> <p>○ □8) 保安施設の設置及び管理が、各種基準及び関係者間の協議に基づき実施されている。</p> <p>○ □9) 地下埋設物及び架空線等に関する事故防止対策に取り組んでいる。</p> <p>◎ □10) 建設労働災害及び公衆災害の防止に向けた取り組みが顕著であった。</p> <p>○ □11) その他(理由: _____)</p>					<p>□ 安全対策に関して、監督員が文書で改善指示を行った。</p>	<p>□ 安全対策に関して、監督員からの文書による改善指示に従わなかった。</p>
		<p>●判断基準</p> <p>評価値が90%以上.....a</p> <p>評価値が80%以上90%未満.....b</p> <p>評価値が80%未満.....c</p>					<p>①○印の評価対象項目については、当該工事に該当しない場合はその項目を削除する。</p> <p>②◎印は加点項目であり、該当行為が他の模範となるほど質が高い場合に評価する。</p> <p>③削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。</p> <p>④評価値 (      %) = 該当項目数 (      ) / 評価対象項目数 (      )</p>	
	Ⅳ. 対外関係	<p>●評価対象項目</p> <p>○ □1) 関係官公庁などと調整を行い、トラブルの発生が無い。</p> <p>◎ □2) 工事施工にあたり、構造物掘削等に伴う借地、任意の工事用道路等の確保を自主的に行った。</p> <p>◎ □3) 地元と調整を行うなど十分な配慮を行って施工している。</p> <p>□4) 近隣住民からの苦情が無い。もしくは、苦情に対して適切な対応を行っている。</p> <p>□5) 第三者からの苦情が無い。もしくは、苦情に対して適切な対応を行っている。</p> <p>○ □6) 関連工事との調整を行い、円滑な進捗に取り組んでいる。</p> <p>○ □7) その他(理由: _____)</p>					<p>□ 対外関係に関して、監督員が文書で改善指示を行った。</p>	<p>□ 対外関係に関して、監督員からの文書による改善指示に従わなかった。</p>
		<p>●判断基準</p> <p>評価値が90%以上.....a</p> <p>評価値が80%以上90%未満.....b</p> <p>評価値が80%未満.....c</p>					<p>①○印の評価対象項目については、当該工事に該当しない場合はその項目を削除する。</p> <p>②◎印は加点項目であり、該当行為が他の模範となるほど質が高い場合に評価する。</p> <p>③削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。</p> <p>④評価値 (      %) = 該当項目数 (      ) / 評価対象項目数 (      )</p>	